事例No.	2600
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	近藤　光一

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

近藤　光一

出典

平成27年度ふるさとづくり大賞事例集

佐藤　恒平　　山形県朝日町

概　　要

大学院在籍中の2008年より着ぐるみによる地域情報の発信にいち早く目を付け従来のご当地キャラクターとは全く違う運用方法によって、地域に住む全年齢を対象とした、地域の誇り醸成のスキームを提唱。その実証実験を皮切りに、住民の地域おこしアイデアを聞き入れ代行して実践する「逆コンサル型」の手法で、数々の企画をカタチにしている。





評価された点

・まだまだ年齢は若いが新たな発想と住民のアイデアや声をしっかり聞いてやっていることが評価できる。それが現実になって動いてきているところがすばらしい。
・「逆コンサル型」という独自の手法で継続的な成果をあげている事、毎年５～10の新企画が生み出されているのは素晴らしい成功事例の再現を目指さない視点が良い。
・オリジナルの地域活性化手法を実践し、町民アイデアを引き出す仕掛けを構築した。被推薦者が手がける独自性の高い取り組みは、各種メディアにも取り上げられ、高いPR効果を生んでいる。これにより、町民が様々な地域おこし活動を実感できるようになっており、大きな効果をあげている。
・地域づくりの”王道”ではない方法で地域づくりを進めている。逆転の発想に一票。

近藤　光一　　山梨県富士吉田市

概　　要

富士山を中心とした環境保全に対する情熱から、富士山エコツアーガイドとして環境・観光教育的な視点を重視し、参加者に歴史や自然などを丁寧に解説する中で、少人数で安全に配慮した案内を実施。また、富士山周辺地域の方々を中心に自然環境のすばらしさを知ってもらい、地域住民とともに保全活動を行いながら地域のリーダーとして地域振興に努めている。





評価された点

・誰もが身近に多様な楽しみ方を通じて山と親しめる時代となったものの、各地で軽装備の山登り、不充分な知識、基本的な訓練等問題となっている。今後益々、富士山周辺のツアーガイドとして、幅広い「富士山」の楽しみ方を国内外に広げていくことは、重要な活動と思われる。
・富士山の世界遺産登録運動の前から、環境保全の重要性を説き、登山ガイドとして多くの登山者の理解得てきた。また、地域の人々や登山者への環境教育にも尽力している。富士山の案内に留まらず、富士山を中心としたエコツーリズムという新しい観光分野も開拓し、地域振興に繋げているのも高く評価できる。
・富士山”命”に一票。
・500回も富士山を登っていることだけでもすごいが、日本は山国。観光客の山登りが増えると安全性などが大事になってくる。Mt.FUJIの取り組みが全国のためにもなってほしい。